

# 国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査会

## 委員一覧 (25名)

会長	鴻池 祥肇 (自民)	舞立 昇治 (自民)	広田 一 (民主)
理事	西田 昌司 (自民)	松山 政司 (自民)	藤末 健三 (民主)
理事	松村 祥史 (自民)	宮本 周司 (自民)	河野 義博 (公明)
理事	山田 俊男 (自民)	山本 順三 (自民)	杉 久武 (公明)
理事	江崎 孝 (民主)	吉川 ゆうみ (自民)	寺田 典城 (みん)
理事	山田 孝太郎 (みん)	渡邊 美樹 (自民)	藤巻 健史 (維新)
理事	辰巳 孝太郎 (共産)	石上 俊雄 (民主)	吉田 忠智 (社民)
	高野 光二郎 (自民)	大塚 耕平 (民主)	
	鶴保 庸介 (自民)	田城 郁 (民主)	

(25. 11. 20 現在)

## (1) 活動概観

### 〔調査の経過〕

本調査会は、国政の基本的事項のうち、国民生活の安定及び向上の観点からデフレ脱却及び財政再建に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成25年8月7日（第184回国会）に設置され、3年間にわたる調査活動を開始した。

今国会においては、理事会等で協議を行った結果、3年間の調査項目を「デフレからの脱却と財政再建の在り方など経済状況について」とすることを決定した。

11月20日の調査会では、会長から調査項目の決定について報告があった後、デフレからの脱却と財政再建の在り方など経済状況について、帝京大学短期大学現代ビジネス学科教授青木泰樹君及び慶應義塾大学経済学部教授駒村康平君の両参考人から意見を聴取し、質疑を行った。

### 〔調査の概要〕

11月20日の調査会では、参考人から、財政問題の基本構造、経済学説の多様性と主な学説の財政観、財政再建策、国債に関する問題の解決策、経済政策等に対する国民意識の変化と世代間の認識のギャップ、デフレの継続と年金財政上の課題等について意見が述べられた。その後、国債発行と税負担等の国民負担率引上げによる積極的財政出動の必要性、医療・介護等の新たな需要がある分野に企業が投資することの重要性、持続的な社会保障を可能にするための制度設計の在り方、デフレと経済成長に対する認識、ハイパーインフレの防止と民間保有国債の日銀移替えを両立させることの難しさ、賃金を引き上げるための方策等について質疑を行った。

## (2) 調査会経過

○平成25年11月20日(水) (第1回)

- 理事の選任及び補欠選任を行った。
- 調査項目の選定について会長から報告があった。

○参考人の出席を求めることを決定した。

- デフレからの脱却と財政再建の在り方など経済状況について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

帝京大学短期大学現代ビジネス学科教授

青木泰樹君

慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平君

〔質疑者〕

西田昌司君（自民）、藤末健三君（民主）、

河野義博君（公明）、寺田典城君（みん）、

藤巻健史君（維新）、吉田忠智君（社民）、

渡邊美樹君（自民）、石上俊雄君（民主）、

大塚耕平君（民主）、山田俊男君（自民）

○平成25年12月6日（金）（第2回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については会長に一任することに決定した。